

Title	サイキス・タスク(フレイザー著, 永橋卓介譯)
Sub Title	
Author	中井, 信彦(Nakai, Nobuhiko)
Publisher	三田史学会
Publication year	1940
Jtitle	史学 Vol.18, No.4 (1940. 4) ,p.217(779)- 217(779)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19400400-0217

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

書評

サイキス・タスク

(フレイザー著)
(永橋卓介譯)

この書は Sir James George Frazer の Psyche's Task—A Discourse Concerning the Influence of Superstition on the Growth of Institutions の翻譯である。

著者フレイザーは言はずと知れた民族學界の大御所、前世紀の終り頃から現在に及ぶその業績は非常な量に上つてゐる。勿論今日では方法的に多くの批難をうけてはゐるが、多かれ少かれ彼の影響をうけない者はないと言つてもよからう。それ故彼の著書は民族學史上最高の位置を占めるものであるし、のみならず、その學說中には尙ほ價値を保つてゐるものも少くはない。謂はゞ彼の書は民族學における古典である。わが國の一部でもはやされる機能學派も、その源泉は彼に在るといはれる。人類學派への正しい理解は民族學への第一歩である。たゞこの派の著書は幾多の例を引用する所から兎角尠大になり勝ちで通讀に堪へない憾みがある。その間にあつてこの書はフレイザーのものとしては最小の部に屬する。

本書は、未開社會において政治・私有財産・結婚・人命の尊重等に對し、俗信が如何なる力を果してゐるかを説いたものである。

それ自身としての迷信は採るに足らぬものであつても、君主政治や私有財産の如き社會制度の基礎として、實は重要な意義を持つてゐることが明かにされてゐる。しかもその間に、彼の有名な呪術の宗教先行説や王の呪師起原説がその片鱗を現はしてゐる。

譯者はかつて「社會制度の發生と原始的信仰」と題してこの書を譯出されたことがあつた。今度のは舊約とは獨立になされた由で、小見出を附した點、行文の滑になつてゐる點等で進歩を見せてゐる。たゞ舊約には譯出されてあつた脚註を凡例にも斷らずに一切廢してしまはれたのはどうかと思ふ。

ともかくフレイザーの學說が、かうした小冊子によつて窺はれる様になつたのは誠に喜ばしい。最後に譯者がかつて試みられたゴールデン・ボー一冊本の翻譯を、一日も早く完成せられることを希望してやまない。(岩波文庫版)(中井信彦)

邦彦王行實

(久邇宮家
御編纂)

本書は長くも國母陛下の御父宮にあらせらる故久邇宮邦彦王クニノミヤの御傳記である。抑々久邇宮は伏見宮邦家親王第四王子朝彦親王を始祖とせらる。親王は維新回天史上には、青蓮院宮尊融入道親王(中川宮・久邇宮)と申して重要な役割を演ぜられ、御生涯は變化極りなく頗る波瀾重疊であつた。

邦彦王は朝彦親王の第三王子として明治六年七月廿三日京都に誕生、世志磨ヨシノと稱せられ、當時、御不自由勝の御生活の中に成長、傳育役の専心なる輔導にて其の天資は益々英明を加えさせられ、